

令和8年5月20日

「クリエイター支援基金 進捗報告会」 ～ プログラム詳細と登壇者が決定しました ～

文化庁では独立行政法人日本芸術文化振興会に「文化芸術活動基盤強化基金」（通称：クリエイター支援基金）を設立し、次代を担うクリエイター・アーティストの育成や支援に取り組んでいます。

令和8年4月15日に、クリエイター支援基金を活用し実施されているプロジェクトの進捗状況やこれまでの成果などについて発表を行う進捗報告会の開催をお知らせしましたが、この度、プログラムの詳細と登壇者が決定しましたのでお知らせします。

1 開催概要

○開催日：令和8年6月5日（金）

○会場：文部科学省 東館3階 講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

ライブ配信 <https://youtube.com/live/PbtbXBx9kCw?feature=share>

※事前申し込み不要

○主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

○プログラム：

14:00 開会

14:02～14:07 主催者挨拶

14:07～14:20 クリエイター支援基金の概要説明

14:20～16:35 採択団体による進捗・成果発表（4団体／各30分）

16:40～17:10 質疑応答

17:10～17:15 クロージング

○進捗・成果を発表する登壇団体・登壇者：別紙「登壇団体、登壇者について」参照

<担当> 文化庁参事官（芸術文化担当）付
コンテンツ振興室
電話：03-6734-2828（直通）

○登壇団体、登壇者について

緊急事態舞台芸術ネットワーク 舞台芸術（演劇）

プロジェクト名：[SOIL Fellowship Program](#)

登壇者：伊藤達哉（緊急事態舞台芸術ネットワーク 常任理事・事務局長）、
野村善文（SOIL 事務局長／育成者）、坂田厚子（SOIL 第1期育成対象者）



令和6年度・令和7年度の活動概要

日本の舞台芸術文化の海外展開を支援するスキームを構築するプロジェクト。令和7年度はロンドン・エディンバラの2都市にて育成対象者が各国の舞台芸術関係者に作品を紹介するピッチイベントが実現し、日本の舞台芸術の多様性を強みに、国際的な発信と持続的なネットワーク構築に向けた実践的な基盤づくりが進みました。

キネマシトラス メディア芸術（アニメ）

プロジェクト名：[グローバル・アニメ・チャレンジ（GAC）](#)

登壇者：安井洋輔（GAC リサーチャー／ファシリテーター）、
中目貴史（育成対象者:プロデューサー）、斎藤圭一郎（育成対象者:ディレクター）



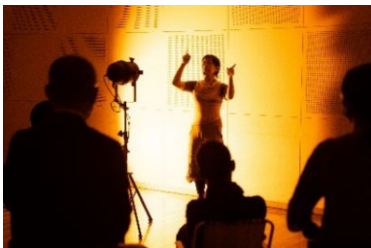
令和6年度・令和7年度の活動概要

若手人材に学びの場を提供し、日本のアニメ産業の牽引者育成を図るプロジェクト。海外展開に特化した育成プログラムと、プロデューサー・監督・アニメーターなど、多様性のある育成対象者が特徴です。令和7年度は、国内でのワークショップと海外アニメ・スタジオでのインターンを実施。今後はパイロット・フィルムの制作、海外のアニメーション映画祭やマーケットへの派遣等を予定しています。

東京芸術劇場 劇場・音楽堂等

プロジェクト名：[TMTギア ー東京芸術劇場クリエイター支援プロジェクト](#)

登壇者：矢作勝義（東京芸術劇場 事業企画課長／TMTギア メンター）、
黒田忍（東京芸術劇場 事業企画課／育成対象者:プロデューサー）



令和6年度・令和7年度の活動概要

東京芸術劇場の芸術監督・岡田利規氏、山田和樹氏らがメンターとなる人材育成を通し、劇場とアート・クリエイターが一体となって世界に向けた事業展開を目指します。海外視察やOJTにより、アート・クリエイターのほか、伴走する映像メディアチーム、館内プロデューサーや舞台技術者を育成しながら制作した新しいクリエイション作品は、今後、同館で発表予定です。

滋慶学園（東京コミュニケーションアート専門学校） デザイン等（分野横断）

プロジェクト名：[イマーシブ映像コンテンツクリエイター育成・輩出プロジェクト「Immersive Media Lab++」](#)

登壇者：大西貫士（東京コミュニケーションアート専門学校 教務部長）、
Discont（Immersive Media Lab++ディレクター）、
廣谷ひより（育成対象者）、高澤優斗（育成対象者）



令和7年度の活動概要

イマーシブ映像コンテンツクリエイターの育成・輩出を目的としたプロジェクト。XR事業を展開する企業「STYLY」と共同し、3DCG・映像・建築・アートを横断するカリキュラムを設計し、第一線で活躍する講師陣による実践的なプログラムを提供します。本年度からは海外の教育機関や企業との連携を通じて在学生向けの通年講義を開講するほか、海外研修などの実施も予定しています。